

## 生涯キャリア発達初期の選択行動

— “ふるさと” の心象と帰還願望 —

武田 圭太

### 問 題

生まれ育ったふるさとを離れて他所の土地へ移住する選択は、生涯にわたるキャリア発達をかたちづくる諸段階それぞれに固有な発達課題との関係が考えられる。青年後期から成人前期にかけて、親の生活から精神的にも経済的にも自立しようとする子の態度は、未成年期から成年期への移行の現れ (Levinson, 1986; Levinson *et al.*, 1978) であり、居住地域内では充足されない機会を求めて、ときには地域外へ探索の目を向けることもあるだろう。進学や就職のために地元を離れ、希望する進路を都市に定める若い人は多い。

親から自立したい子が、実家から遠く離れた土地での暮らしにさまざまな夢や期待を思い描いて、独自の生活を築こうと試行錯誤するのは、人の生涯発達初期にみられる一般的な経験である。ふるさとを離れ、移住地での暮らしが落ち着いて、生活の基盤も安定すると、やがて子は結婚し家庭を形成する。親の家族周期が後半に移る頃、子の家族周期が始まる。そして、親から自立した子も親になって、家族の周期が世代間で引き継がれていく。それに伴い親は老いて老年期を迎え、老夫婦の暮らしは他人の手を借りなければ困難な状況に陥っていく。

Uターンと呼ばれる人口帰還移動 (reverse migration) は、出身地を離れて生活していた人が再び出身地に帰ってくる人口の還流現象を指す。こうした人口の動きを巨視水準で議論する人口学や経済学等の視点ではなく、同じ現象を微視水準の視点で観察すると、生活環境にかかわる都市と地方との違い、別居している親と子の関係、都市で働くことの問題など、人の生涯キャリア発達を考えるうえで重要な事実が見えてくる (武田, 1993)。特に、ふるさとの外に機会を求めて出郷した人が、もう一度ふるさとに帰ろうとする心理には、成人期の生活を再構築しようとする意向が関係しているように思える。

そこで本稿では、ふるさとで暮らしている在郷者と、ふるさとを離れて暮らしている出郷者とを比較して、それぞれのふるさと心理にどのような違いがあるかについて検討してみよう。分析する資料は、秋田県人を対象に調査し収集した。ふるさとを離れて首都圏に住む出郷者のうち、ふるさとへ帰る意向を明確に持っている人たち ( $n=79$ ) と、ふるさと秋田県内に住んでいる在郷者 ( $n=164$ ) の人たち双方から得た資料を分析した結果を紹介する。

## 方 法

**調査目的** 秋田県出身で、秋田県内に住む在郷の男女と首都圏に住む出郷の男女を対象に、ふるさとの心象構造を明らかにして、ふるさとや親との関係に関する認知との関連性を検討することが主な目的だった。

**調査対象** 財団法人秋田県ふるさと定住機構が、秋田市内で開催した職業意識啓発セミナーへの出席者つまり在郷者と、東京都内に開設されているAターンプラザ秋田への登録者つまり出郷者を対象にした。調査対象者の平均年齢は、在郷者の男性22.49歳 ( $n=70$ ,  $SD=5.90$ ), 女性23.29歳 ( $n=94$ ,  $SD=6.66$ ), 出郷者の男性29.35歳 ( $n=48$ ,  $SD=6.10$ ), 女性24.68歳 ( $n=31$ ,  $SD=4.64$ ) だった。

**調査方法** 原調査は、構造化された質問紙法で行った。在郷者については、職業意識啓発セミナー終了後、調査票を配布して記入を要請し、その場で回収した。出郷者については、Aターンプラザ秋田への来訪者に回答を要請して、その場で記入してもらい回収した。秋田県内では200人から回収したが、秋田県外の出身者や回答の一部が無記入など不備だった調査票を除く164票が有効だった(配布票に対する有効回収率82.00%)。一方、東京都内では92人から回答を得たが、やはり秋田県外の出身者や不備だった調査票を除いて79票が有効だった(配布票に対する有効回収率85.87%)。

**調査時期** 秋田県内で2002(平成14)年6~9月, 12月, 2003(平成15)年1~2月, 10~11月に実施した。また、東京都内では2003(平成15)年2月~2004(平成16)年3月に行った。

**調査項目** ふるさとの空間心象は、表1の項目1~10それぞれについて、「1=そう思う/2=どちらかといえばそう思う/3=どちらかといえばそうは思わない/4=そうは思わない」のなかから一つ選んでもらった。

ふるさとの人物・事物心象は、表1の項目11~25それぞれについて、「1=そう思う/2=どちらかといえばそう思う/3=どちらかといえばそうは思わない/4=そうは思わない」のなかから一つ選んでもらった。

親へ報恩する意志は、「あなたは、将来、育ててくれた親に恩返ししようと思えますか」に対して、「1=恩返ししようと思う/2=どちらかといえば恩返ししようと思う/3=どちらかといえば恩返ししようとは思わない/4=恩返ししようとは思わない」のなかから一つ選んでもらった。

老親を世話する意志は、「あなたは、将来、親の老後のめんどうをみようと思えますか」に対して、「1=めんどうをみようと思う/2=どちらかといえばめんどうをみようと思う/3=どちらかといえばめんどうをみようとは思わない/4=めんどうをみようとは思わない」のなかから一つ選んでもらった。

親と同居する意志は、「あなたは、将来、結婚したとき、あなたやあなたの配偶者の親といっしょに暮らそうと思えますか」に対して、「1=いっしょに暮らそうと思う/2=どちら

かといえはいっしょに暮らそうと思う／3＝どちらかといえはいっしょに暮らそうとは思わない／4＝いっしょに暮らそうとは思わない」のなかから一つ選んでもらった。

ふるさとの印象は、「あなたは、ふるさとにどのような印象を持ちますか」に対して、「1＝良い印象を持つ／2＝どちらかといえば良い印象を持つ／3＝どちらかといえば悪い印象を持つ／4＝悪い印象を持つ」のなかから一つ選んでもらった。

ふるさとの有無は、「あなたには、ふるさとがありますか」に対して、「1＝ふるさとがある／2＝どちらかといえばふるさとがある／3＝どちらかといえばふるさとはない／4＝ふるさとはない」のなかから一つ選んでもらった。

表1 ふるさとの心象項目

- 
1. ふるさとは、なつかしいところである
  2. ふるさとは、心が安らぐところである
  3. ふるさとは、水や空気がきれいなところである
  4. ふるさとは、子どもの頃に住んでいたところである
  5. ふるさとは、のんびりしたところである
  6. ふるさとは、山や川や海が美しいところである
  7. ふるさとは、夢や希望に満ちているところである
  8. ふるさとは、明るいところである
  9. ふるさとは、遠く離れたところである
  10. ふるさとは、住みやすいところである
  11. ふるさとは、親が住んでいる
  12. ふるさとは、田畑がある
  13. ふるさとは、旧友が住んでいる
  14. ふるさとは、墓がある
  15. ふるさとは、お爺さんやお婆さんが住んでいる
  16. ふるさとは、実家がある
  17. ふるさとは、大家族が住んでいる
  18. ふるさとは、面倒見のいい人たちが住んでいる
  19. ふるさとは、先祖代々の土地がある
  20. ふるさとは、人情味のある人たちが住んでいる
  21. ふるさとは、裕福な人たちが住んでいる
  22. ふるさとは、漁港がある
  23. ふるさとは、義理堅い人たちが住んでいる
  24. ふるさとは、保守的な人たちが住んでいる
  25. ふるさとは、親しい人たちが住んでいる
-

ふるさとでの定住願望は、「あなたは、ふるさとに住みたいですか」に対して、「1=ふるさとから離れずにずっと住みたい/2=ふるさとからしばらく離れて暮らした後で、戻ってきてずっと住みたい/3=ふるさとから離れて暮らしながら、ときどき戻ってきたい/4=ふるさとから離れたところで、戻らずにずっと暮らしたい」のなかから一つ選んでもらった。

以上の変数は、全て得点を逆転させて分析した。この他、性別、年齢、出生順位、学年（学生の場合）、出身地の回答を得た。出生順位は、「1=長男/長女である/2=長男/長女でない」のどちらかを選んでもらい、「1=長男/長女である/2=長男/長女でない」とした。出身地は、都道府県の水準で記述してもらった。出身地に関するそれ以上詳細な情報は、回答を拒否されそうだったので収集していない。

本稿での分析対象は、在/出郷者共に第一子の比率が高い（表2）。また、在郷者は女性、出郷者は男性がそれぞれやや多いが、どちらも性別と出生順位とに有意な関係はない。

表2 居住地別の分析対象の性別と出生順位

			(人・%)	
秋田県在住者				
出生順位				
性別	第一子である (n = 110)	第一子でない (n = 54)		
男性 (n = 70)	50 (71.40)	20 (28.60)		
女性 (n = 94)	60 (63.80)	34 (36.20)		
$\chi^2 = 1.049, df = 1, p = .319, ns$				
首都圏在住者				
出生順位				
性別	第一子である (n = 56)	第一子でない (n = 23)		
男性 (n = 48)	35 (72.90)	13 (27.10)		
女性 (n = 31)	21 (67.70)	10 (32.30)		
$\chi^2 = .244, df = 1, p = .623, ns$				

## 結果と考察

**ふるさと心理の差異** まず、分析対象を性別と居住地とで4群に区分して、ふるさと心理について一元配置分散分析し、有意差がみられた変数を多重比較した。その結果をまとめた表3によると、全般に、性差より居住地による差異が目立つ。「ふるさとには、裕福な人たちが住んでいる」を除くふるさとの心象の大半は、在郷者に比べ出郷者の方が高い。現在、ふる

表3 秋田県人の秋田県/首都圏在住別にみたふるさとの心象の差異

	秋田県在住者				首都圏在住者				
	男性(n=70)		女性(n=94)		男性(n=48)		女性(n=31)		
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	
年齢	22.49	5.90	23.29	6.66	29.35	6.10	24.68	4.64	***
出生順位	1.29	.46	1.36	.48	1.27	.45	1.32	.48	
ふるさは、なつかしいところである	3.17	1.02	3.59	.68	3.48	.51	3.65	.55	**
ふるさは、心が安らぐところである	3.46	.65	3.59	.66	3.31	.55	3.65	.49	*
ふるさは、水や空気がきれいなところである	3.39	.77	3.61	.63	3.46	.54	3.68	.48	
ふるさは、子どもの頃に住んでいたところである	3.43	.88	3.38	.96	3.65	.60	3.84	.37	**
ふるさは、のんびりしたところである	3.50	.88	3.66	.61	3.58	.50	3.71	.46	**
ふるさは、山や川や海が美しいところである	3.19	.89	3.47	.73	3.46	.54	3.65	.49	*
ふるさは、夢や希望に満ちているところである	2.03	.95	2.12	.93	2.77	.69	3.00	.89	***
ふるさは、明るいところである	2.51	.94	2.76	.95	2.83	.66	3.10	.79	*
ふるさは、遠く離れたところである	2.41	1.12	2.40	1.22	3.42	.58	3.39	.67	***
ふるさは、住みやすいところである	3.03	.92	3.02	1.03	3.27	.57	3.32	.65	***
ふるさとは、親が住んでいる	3.69	.77	3.76	.62	3.88	.33	3.94	.25	***
ふるさとは、田畑がある	3.40	.94	3.74	.57	3.67	.48	3.74	.45	**
ふるさとは、旧友が住んでいる	3.34	.87	3.44	.81	3.73	.45	3.90	.30	***
ふるさとは、墓がある	3.33	.99	3.57	.84	3.83	.38	3.84	.37	**
ふるさとは、お爺さんやお婆さんが住んでいる	3.40	.91	3.48	.90	3.77	.56	3.90	.30	***
ふるさとは、実家がある	3.67	.65	3.73	.63	3.88	.33	3.90	.30	*
ふるさとは、大家族が住んでいる	2.21	1.03	2.49	1.00	2.79	1.01	3.06	.96	***
ふるさとは、面倒見のいい人たちが住んでいる	2.83	.92	2.96	.76	3.17	.63	3.48	.51	**
ふるさとは、先祖代々の土地がある	3.09	1.00	3.45	.88	3.73	.49	3.74	.51	***
ふるさとは、人情味のある人たちが住んでいる	3.11	.91	3.18	.79	3.25	.60	3.52	.51	*
ふるさとは、裕福な人たちが住んでいる	2.00	.93	2.02	.89	1.63	.70	1.81	.75	**
ふるさとは、漁港がある	2.09	1.06	2.35	1.22	2.60	1.11	2.52	1.12	*
ふるさとは、義理堅い人たちが住んでいる	2.64	.90	2.74	.83	3.17	.69	3.32	.54	***
ふるさとは、保守的な人たちが住んでいる	2.81	.80	2.89	.82	2.98	.73	3.10	.65	*
ふるさとは、親しい人たちが住んでいる	3.14	.89	3.35	.77	3.42	.61	3.58	.50	**
親へ報恩する意志	3.53	.65	3.76	.43	3.44	.50	3.52	.51	**
老親を世話する意志	3.23	.77	3.52	.64	3.50	.51	3.39	.50	*
親と同居する意志	2.54	.97	2.57	.99	3.23	.75	3.19	.70	***
ふるさとの印象	3.27	.64	3.37	.55	3.17	.48	3.42	.56	**
ふるさとの有無	3.60	.81	3.79	.55	3.58	.50	3.84	.37	***
ふるさとの定住願望	2.87	.90	2.80	.81	3.69	.51	3.55	.68	***

\*p<.05 \*\*p<.01 \*\*\*p<.001

さとを離れ他所の都会で暮らす出郷者は、ふるさとの現実をあまり経験していないだけに、過去の記憶にもとづいてふるさを紋切り型に心象化しているのかもしれない。その心象を要約すると、ふるさは「水や空気がきれいで、山や川や海が美しく、貧しいが夢や希望に満ちたところ」となるだろう。出郷者の心象は、美しく懐かしい典型的なふるさとの表象である。

また、ふるさと秋田へUターンする意向を持つ首都圏在住者は、親と同居する意志が高いようである。何らかの理由でふるさを離れ大都会で暮らしてきた人は、ふるさとに住む親と別居して生活しているうちに、ふるさとや親に対して、ふるさを離れたときと違った感情を持つようになったのかもしれない。それが加齢に伴うパーソナリティの変化なのか、仕事や家庭の状況が変わったからなのか、あるいはその他の原因なのか、原調査の資料から明らかにできない。

しかし、ふるさとの生活に不満を感じて出郷したと思われる人が、一定の期間をふるさとから物理的に離れた土地、特に都市で生活するうちに、在郷者に比べて、①ふるさを紋切り型に心象化するようになる、②男性は、老親を世話する意志が強まる、③親と同居する意志が強まる、④ふるさとに定住したいという気持ちになることが明らかになった。出郷者に帰郷を促すのは、ふるさとの心象なのか、親なのか、またはその両者なのか。ともあれ、ふるさを離れる選択をした人を呼び戻すような力が、ふるさとはあるように思える。

**ふるさとの心象形成因子** 次に、ふるさとの心象構造について考えてみよう。最初に、相関係数を算出して、変数間の関係をみることにした(表4)。親との関係に関する3変数、ふるさとの認知に関する3変数を基準にして、他の変数との相関性をみると、在郷者の場合、親との同居やふるさとに定住する気持ちは、年齢と正の相関がみられるが、ふるさとの明るさや住みやすさの心象は、年齢と負の相関を示している。親を世話しながらふるさとに住み続ける意志が加齢と共に固まる反面、成人子は、将来の生活の場として、ふるさとから明るさや住みやすさを感じ取れなくなるのかもしれない。そのような否定的な感情は、老いた親を世話し介護する子の負担感と無関係ではないだろう。

一方、出郷者には、出生順位と親との関係に負の相関がみられる。第一子でない出郷者は、親との関係にあまり関与を示していない。また、出郷者のふるさとでの定住願望は、「ふるさとは、先祖代々の土地がある」と正に相関している。在郷者に比べ出郷者は、先祖代々の土地へUターンして、定住しようとする気持ちが強いかもしれない。ふるさを離れた第一子は親への思いが強く、ふるさとに帰って住みたい人はイエの所有地を思い浮かべている。

このような変数間の単相関性を確認したうえで、ふるさとの心象を形成する因子を特定するため、表1の25項目を因子分析した。ふるさとの空間とそのなかの人物・事物とを分けて、それぞれの心象構造を分析した結果はすでに報告した(武田, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007)ので、ここでは両方を一括して処理してみた。主因子法にしたがい固有値1.000以上の因子をヴァリマックス回転した結果、在郷者は六つの因子(表5)、出郷者は七つの因子(表6)が抽出された。

在郷者の第1因子に負荷が高い項目は、ふるさとには「実家がある」「お爺さんやお婆さんが住んでいる」「親が住んでいる」「墓がある」などだった。第1因子は、ふるさとの人物・事物の心象だけで構成されているが、いずれもイエに関連する項目とみなし、第1因子を「ふるさとのイエ」とした。

第2因子に負荷が高いのは、ふるさとは「山や川や海が美しい」「水や空気がきれい」「のんびりした」「心が安らぐ」ところなどの項目である。第2因子は、ふるさとの空間心象だけで構成されている。因子負荷量が特に高い二つの項目にもとづいて、第2因子を「美しいふるさと」とした。

第1因子から第2因子にかけて寄与率の低下がやや大きいので、第1因子「ふるさとのイエ」が主因子と思われる。第3因子以下も負荷が高い項目に着目して、第3因子を「夢や希望に満ちたふるさと」、第4因子を「義理堅いふるさとびと」、第5因子を「人情豊かなふるさとびと」、第6因子を「子どもの頃のふるさと」とした。6因子の累積寄与率は48.412%である。在郷者は、イエや美しさを主体にふるさとを心象化しているようである。

一方、出郷者についても在郷者と同じような主因子が抽出された。出郷者の第1因子に負荷が高い項目は、ふるさとには「親が住んでいる」「実家がある」「墓がある」「お爺さんやお婆さんが住んでいる」などだった。第1因子を「ふるさとのイエ」とした。また、唯一「ふるさとは、子どもの頃に住んでいたところである」を除くと、出郷者もふるさとを人物・事物で心象化しているようである。このように、ふるさとは全体的で包括的な空間の心象より、特定の人物や事物の方が心象化されやすいのかもしれない。

第2因子への高負荷項目は、ふるさとは「水や空気がきれい」「山や川や海が美しい」「心が安らぐ」ところなどだった。第2因子を「美しいふるさと」とした。在郷者と同じように、出郷者の第2因子を構成しているのは、ふるさとの空間心象だけである。

寄与率の低下をみると、第1因子から第2因子にかけてやや大きいので、出郷者についても第1因子「ふるさとのイエ」が主因子と考えられる。第3因子以下も同様に、第3因子を「ふるさとの大家族」、第4因子を「人情豊かなふるさとびと」、第5因子を「遠く離れたふるさと」、第6因子を「保守的なふるさとびと」、第7因子を「夢や希望に満ちたふるさと」とした。7因子の累積寄与率は67.950%である。出郷者も、イエと美しさでふるさとを心象化している。ただし、「ふるさとには、大家族が住んでいる」という心象が、在郷者は、第1因子「ふるさとのイエ」に負荷しているのに対して、出郷者は、第1因子とは別に第3因子「ふるさとの大家族」に最も大きく負荷する項目になっている。一方で、出郷者は、ふるさとから離れて、身近に家族や親族がいない状況で生活しているため、家族や親族がたくさん集まって頻繁に交流しながら暮らしている日常を、在郷者より強くふるさとに心象化しているのかもしれない。他方、在郷者は、おそらく家族や親族が同居ないし近居しているから、イエにかかわる人物ばかりでなく関連する事物も分離せず、それらが一体となって一つの因子に集合するような心象構造になっているのではないかと思われる。

**ふるさと心理の規定因** 最後に、ふるさとの心象が、親との関係やふるさとの認知をどのように規定しているかを探るため、ふるさとの認知にかかわる三つの変数と、親との関係に

表4 秋田県人の秋田県/首都圏在住別にみたふるさとの心象に関する相関係数

	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	13.	14.	15.
1. 年齢	-	-.210**	.025	-.071	-.077	.028	-.130	-.091	-.019	-.240**	-.224**	-.220**	.066	.018	-.004
2. 出生順位	-.318**	-	-.137	.007	.044	-.123	.089	.084	.010	.065	.099	.155*	-.098	.029	-.116
3. ふるさとは、なつかしいところである	.173	-.081	-	.371***	.231**	.231**	.310***	.295***	.294***	.196*	.149*	.075	.056	.120	.242**
4. ふるさとは、心が安らぐところである	.011	-.010	.575***	-	.380***	.251**	.333***	.537***	.350***	.423***	.059	.437***	.148	.328***	.263**
5. ふるさとは、水や空気がきれいなところである	-.005	-.028	.583***	.752***	-	.059	.491***	.617***	.296***	.299***	.170*	.189*	.052	.240**	.219**
6. ふるさとは、子どもの頃に住んでいたところである	.143	.021	.321**	.298**	.367**	-	.286***	.230**	.141	.160*	.130	.138	.465***	.334***	.413***
7. ふるさとは、山や川や海が美しいところである	.159	-.090	.441***	.522***	.542***	.695***	-	.544***	.198*	.259**	.094	.310***	.237**	.400***	.283***
8. ふるさとは、山や川や海が美しいところである	.062	-.012	.515***	.726***	.931***	.399***	.623***	-	.312***	.365***	.114	.345***	.150	.365***	.240**
9. ふるさとは、夢や希望に満ちているところである	-.006	-.101	.249*	.356**	.187	.060	.168	.307**	-	.682***	.183*	.354***	.005	.019	.322***
10. ふるさとは、明るいうところである	-.081	-.060	.227*	.460***	.294**	.121	.262*	.426***	.894***	-	.139	.438***	.041	.034	.299***
11. ふるさとは、速く離れたところである	.180	.123	.383**	.261*	.303**	.473***	.466***	.318**	.228*	.263*	-	.018	-.005	.075	.103
12. ふるさとは、住みやすいところである	.078	-.265*	.303**	.419***	.424***	.177	.414***	.556***	.633***	.691***	.198	-	.138	.185**	.221**
13. ふるさとは、親が住んでいる	.050	.030	.269*	.196	.269*	.620***	.441***	.261*	-.060	-.030	.293**	.093	-	.431***	.395***
14. ふるさとは、田畑がある	.270*	-.183	.372**	.335**	.424***	.540***	.582***	.408***	.059	.095	.396***	.229*	.508***	-	.252**
15. ふるさとは、田舎が住んでいる	-.004	-.093	.223*	.352**	.344**	.392***	.466***	.331**	.113	.175	.337**	.193	.666***	.557***	-
16. ふるさとは、墓がある	.153	.134	.266*	.298**	.266*	.544***	.512***	.255*	-.080	-.039	.297**	.159	.756***	.523***	.456***
17. ふるさとは、お爺さんやお婆さんが住んでいる	.132	-.173	.340**	.256*	.135	.363**	.271*	.125	-.033	.117	.118	.138	.588***	.394***	.412***
18. ふるさとは、実家がある	.071	.054	.221	.218	.297**	.567***	.471***	.288*	-.064	-.032	.305**	.108	.936***	.543***	.612***
19. ふるさとは、大家族が住んでいる	-.049	-.075	.082	.389***	.156	.140	.055	.153	.428***	.526***	.322**	.242*	.051	.211	.331**
20. ふるさとは、面倒臭い土地がある	.078	-.079	.385***	.458***	.464***	.338**	.283*	.395***	.415***	.426***	.163	.399***	.233*	.367**	.350**
21. ふるさとは、先祖代々の土地がある	.231*	-.050	.216	.295**	.168	.347**	.492***	.252*	.101	.131	.442***	.261*	.412***	.479***	.365**
22. ふるさとは、人情味のある人たちが住んでいる	-.002	-.104	.411***	.509***	.580***	.159	.287*	.510***	.310**	.454***	.133	.473***	.134	.360**	.311**
23. ふるさとは、裕福な人たちが住んでいる	-.005	.038	-.065	-.012	.171	.178	.153	.127	-.190	-.111	-.008	.000	.150	.027	.182
24. ふるさとは、漁港がある	.121	-.155	.121	.149	.165	.034	.108	.112	.019	.030	.205	.075	-.055	.092	.204
25. ふるさとは、義理堅い人たちが住んでいる	.240*	-.054	.313**	.330**	.351**	.417***	.273*	.359**	.476***	.476***	.319**	.391***	.252*	.410***	.280*
26. ふるさとは、保守的な人たちが住んでいる	-.012	.057	.137	.171	.206	.332**	.141	.172	.007	-.022	.247*	-.109	.194	.183	.109
27. ふるさとは、親しい人たちが住んでいる	.105	-.003	.353**	.373**	.353**	.362**	.366**	.330**	.466***	.383***	.315**	.220	.283*	.364**	.370**
28. 親へ報恩する意志	.110	-.322**	.284*	.307**	.430***	.111	.189	.403***	.201	.260*	.042	.222*	.063	.289**	.157
29. 老親を世話する意志	.219	-.363**	.263*	.189	.311**	.050	.117	.333**	.230*	.222*	.143	.277*	.054	.218	.082
30. 親と同居する意志	.209	-.383***	.226*	.208	.192	-.009	.081	.199	.211	.246**	.148	.148	.042	.158	.063
31. ふるさとの印象	-.061	-.113	.398***	.388***	.445***	.085	.187	.410***	.468***	.519***	.140	.523***	.010	.179	.015
32. ふるさとの有無	.055	-.163	.344**	.353**	.396***	.261*	.272*	.327**	.088	.205	.230*	.285*	.223*	.379**	.199
33. ふるさとの定住願望	.221	-.075	.242*	.155	.075	.288**	.198	.143	.310**	.219	.280*	.346**	.295**	.200	.061

\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .001$ (注) 右上部は秋田県在住者 ( $n = 164$ ), 左下部は首都圏在住者 ( $n = 79$ ) のデータである。



.056	.025	.040	.141	-.086	-.003	-.141	-.166*	-.060	.081	-.174*	-.021	.106	.218**	-.191*	-.070	.208**
-.019	-.058	-.086	-.039	-.011	-.039	-.004	-.009	-.043	.009	-.018	.058	.085	.076	.027	.016	-.089
-.043	.183*	.118	.098	.133	.146	.193*	.103	.043	.091	.107	.011	.065	-.062	.181*	.397***	.129
.032	.158*	.124	.170*	.364***	.231**	.418***	.081	.155*	.217**	.117	.373***	.199*	.040	.354***	.214**	.361***
.170*	.133	.077	.282***	.320***	.311***	.369***	.184*	.267**	.329***	.149	.191*	.140	.109	.230**	.139	.056
.357***	.299***	.441***	.191*	.131	.236**	.189*	.192*	.111	.160*	.206**	.366***	.152	-.048	.082	.161*	.151
.286***	.292***	.291***	.186*	.293***	.285***	.356***	.153*	.186*	.231**	.169*	.315***	.053	.022	.156*	.103	.093
.127	.207**	.175*	.235**	.287***	.306***	.381***	.178*	.252**	.256**	.140	.348***	.144	.054	.338***	.187*	.185*
.050	.126	.029	.258**	.350***	.133	.344***	.441***	.187*	.313***	.063	.298***	.233**	.324***	.186*	.355***	.232**
.062	.089	.003	.241**	.299***	.121	.297***	.382***	.176*	.255**	.079	.389***	.207**	.261**	.437***	.137	.162*
.083	.065	.103	.138	.198*	.206**	.148	.179*	.127	.243**	.105	.003	-.154*	-.130	.097	.005	-.305***
.104	.189*	.140	.132	.388***	.025	.369***	.193*	.169*	.220**	.074	.295***	.153	.199*	.328***	.169*	.286***
.395***	.427***	.673***	.252**	.157*	.200*	.052	.094	-.026	.110	.052	.441***	.174*	-.043	-.125	.077	.056
.379***	.412***	.374***	.318***	.131	.375***	.229**	.096	.171*	.143	.145	.235**	.168*	.127	.057	.119	.120
.336***	.458***	.371***	.301***	.251**	.233**	.185*	.221**	.163*	.124	.055	.453***	.177*	.107	-.003	.058	.192*
—	.484***	.451***	.313***	.167*	.431***	.179*	.186*	.045	.094	.065	.243**	.176*	-.015	-.050	.075	-.015
.485***	—	.624***	.319***	.214**	.429***	.234**	.151	.169*	.157*	.086	.344***	.024	-.038	.007	.034	.206**
.808***	.542***	—	.348***	.201**	.398***	.176*	.059	.104	.209**	.110	.275***	.011	-.095	-.109	-.085	.071
.024	.206	.044	—	.354***	.388***	.226**	.386***	.112	.267**	.211**	.123	-.002	.160*	.164*	.091	.097
.273*	.228*	.241*	.456***	.229*	.271***	.619***	.189*	.235**	.492***	.234**	.376***	.102	.150	.007	.381***	.245**
.520***	.340**	.451***	.229*	.090	—	.275***	.189*	.160*	.236**	.245**	.191*	.040	.046	.047	.146	.164*
.214	.185	.152	.420***	.841***	.153	—	.320***	.146	.582***	.229**	.392***	.154*	.094	.097	.395***	.328***
.145	.028	.181	-.008	.147	-.085	.169	—	.226**	.249**	.119	.176*	.144	.117	.075	.234**	.177*
-.018	-.123	-.032	.251*	.287*	-.117	.302**	.235*	—	.263**	.238**	.165*	-.007	-.049	-.129	.173*	.066
.267*	.220	.254*	.440***	.791***	.072	.611***	.124	.322**	—	.431***	.292***	.160*	.095	.025	.330***	.251**
.115	.130	.186	.318**	.226*	.056	.009	.117	.081	.361**	—	.173*	.140	.076	.022	.007	.115
.254*	.129	.302**	.333**	.628***	.184	.445***	.079	.108	.571***	.321**	—	.293***	.167*	-.001	.200*	.127
.006	.138	.017	.224*	.349**	-.008	.392***	.079	.252*	.342**	.259*	.365**	—	.511***	.142	.218**	.077
-.005	.128	.008	.197	.234*	-.022	.232*	-.073	.243*	.272*	.223*	.298**	.822***	—	.457***	.275***	.091
-.057	.186	-.003	.172	.060	.018	.091	-.142	.132	.086	.216	.148	.597***	.747***	—	.168*	.102
.095	.089	.030	.274*	.564***	.176	.616***	.047	.067	.391***	-.019	.379**	.349**	.314**	.184	—	.292***
.285*	.322**	.184	.151	.376**	.239*	.467***	-.060	.056	.287*	.064	.240*	.420***	.404***	.278*	.504***	-.266**
.250*	.133	.255*	.157	.089	.455***	.049	-.238*	-.129	.159	-.040	.344**	.113	.362**	.280*	.324**	.369**

表5 秋田県在住者のふるさとの心象に関する項目の回転後の因子負荷量 (n=164)

項目	1	2	3	4	5	6	共通性
18. ふるさとは、実家がある	.765	.029	-.048	.114	.092	.182	.643
17. ふるさとは、お爺さんやお婆さんが住んでいる	.703	.110	.089	.046	.130	.032	.534
13. ふるさとは、親が住んでいる	.675	.008	-.059	-.045	.159	.377	.628
16. ふるさとは、墓がある	.659	.067	.083	.064	.012	-.045	.452
14. ふるさとは、田畑がある	.520	.366	-.095	.100	.068	.051	.430
21. ふるさとは、先祖代々の土地がある	.503	.266	.099	.317	-.052	-.160	.462
15. ふるさとは、旧友が住んでいる	.462	.173	.329	-.003	.132	.275	.445
19. ふるさとは、大家族が住んでいる	.441	.108	.318	.265	.036	-.169	.407
8. ふるさとは、山や川や海が美しいところである	.132	.773	.116	.132	.206	.032	.689
5. ふるさとは、水や空気がきれいなところである	.095	.636	.161	.258	.110	-.183	.552
7. ふるさとは、のんびりしたところである	.292	.569	.043	.140	.182	.060	.467
4. ふるさとは、心が安らぐところである	.054	.568	.153	.051	.383	.188	.533
3. ふるさとは、なつかしいところである	.072	.379	.194	.056	-.019	.160	.215
9. ふるさとは、夢や希望に満ちているところである	-.032	.215	.762	.117	.239	.093	.708
10. ふるさとは、明るいところである	-.043	.279	.674	.033	.310	.150	.654
23. ふるさとは、裕福な人たちが住んでいる	.162	.026	.530	.249	.093	-.067	.383
25. ふるさとは、義理堅い人たちが住んでいる	.066	.080	.120	.715	.350	.039	.661
26. ふるさとは、保守的な人たちが住んでいる	.067	.080	-.021	.541	.044	.113	.319
11. ふるさとは、遠く離れたところである	.072	.092	.200	.299	-.084	-.026	.151
24. ふるさとは、漁港がある	.065	.198	.143	.281	.073	.006	.148
22. ふるさとは、人情味のある人たちが住んでいる	.122	.251	.146	.438	.561	-.070	.610
20. ふるさとは、面倒見のいい人たちが住んでいる	.175	.128	.226	.406	.556	-.101	.582
12. ふるさとは、住みやすいところである	.079	.245	.228	-.020	.535	.071	.410
27. ふるさとは、親しい人たちが住んでいる	.298	.179	.165	.099	.451	.378	.504
6. ふるさとは、子どもの頃に住んでいたところである	.440	.156	.107	.172	-.007	.507	.516
寄与率	13.605	9.744	7.619	7.028	6.893	3.523	

表6 首都圏在住者のふるさとの心象に関する項目の回転後の因子負荷量 (n=79)

項目	1	2	3	4	5	6	7	共通性
13. ふるさとは、親が住んでいる	.925	.081	-.021	.024	.037	.141	-.081	.891
18. ふるさとは、実家がある	.912	.097	-.026	.062	.069	.103	-.089	.869
16. ふるさとは、墓がある	.805	.141	-.012	.092	.113	.019	-.075	.696
17. ふるさとは、お爺さんやお婆さんが住んでいる	.643	.116	.050	-.089	-.118	.060	.174	.485
15. ふるさとは、旧友が住んでいる	.606	.171	.093	.235	.174	.009	.214	.536
14. ふるさとは、田畑がある	.569	.276	.084	.199	.264	.097	.081	.533
6. ふるさとは、子どもの頃に住んでいたところである	.552	.213	.094	.139	.381	.343	-.163	.667
21. ふるさとは、先祖代々の土地がある	.522	.150	.094	-.139	.367	-.108	.205	.511
5. ふるさとは、水や空気がきれいなところである	.149	.930	.088	.215	.063	.110	-.028	.957
8. ふるさとは、山や川や海が美しいところである	.154	.857	.231	.118	.189	.037	-.077	.869
4. ふるさとは、心が安らぐところである	.183	.759	.245	.030	.063	.075	.260	.748
3. ふるさとは、なつかしいところである	.228	.552	.177	.051	.081	.134	.022	.416
19. ふるさとは、大家族が住んでいる	-.094	.127	.938	-.121	.100	.081	.092	.856
10. ふるさとは、明るいところである	-.033	.245	.873	-.063	.099	-.034	.216	.885
12. ふるさとは、住みやすいところである	.108	.375	.644	.069	.133	-.249	-.007	.652
25. ふるさとは、義理堅い人たちが住んでいる	.218	.142	.546	.497	-.007	.425	.061	.797
27. ふるさとは、親しい人たちが住んでいる	.250	.205	.423	.245	.061	.390	.048	.501
20. ふるさとは、面倒見のいい人たちが住んでいる	.245	.290	.507	.592	-.234	.266	.137	.896
22. ふるさとは、人情味のある人たちが住んでいる	.167	.457	.410	.591	-.214	-.078	.227	.858
24. ふるさとは、漁港がある	-.111	.069	.002	.555	.166	.037	.168	.382
23. ふるさとは、裕福な人たちが住んでいる	.104	.044	-.134	.382	.014	.045	-.106	.190
11. ふるさとは、遠く離れたところである	.250	.172	.159	.074	.586	.214	.159	.537
7. ふるさとは、のんびりしたところである	.451	.473	.158	.135	.534	.009	-.161	.782
26. ふるさとは、保守的な人たちが住んでいる	.099	.107	-.058	.065	.104	.688	.127	.528
9. ふるさとは、夢や希望に満ちているところである	.073	.051	.367	.166	.107	.244	.784	.945
寄与率	18.692	14.193	13.425	7.026	5.136	5.086	4.392	

かかわる三つの変数を従属変数、ふるさとの心象因子を独立変数として重回帰分析した。

表7によると、在郷者の場合、ふるさとの印象を従属変数にした決定係数.314は0.1%水準で有意だった。標準偏回帰係数の値から、独立変数は、①人情豊かなふるさとびと、②夢や希望に満ちたふるさと、③美しいふるさと、④義理堅いふるさとびとが正の予測力、⑤ふるさとのイエが負の予測力を有意に持つことがわかった。義理や人情に厚いふるさとびとや、夢や希望に満ちた美しいふるさとの心象が、ふるさとの良い印象を形成する反面、イエにまつわる心象は、ふるさとの印象を悪くしているようである。

表7 秋田県在住者のふるさとの認知を従属変数とするふるさとの心象因子の重回帰分析結果 (n = 164)

独立変数	従属変数： ふるさとの印象		従属変数： ふるさとの有無		従属変数： ふるさとでの定住願望	
	標準偏 回帰係数	t	標準偏 回帰係数	t	標準偏 回帰係数	t
ふるさとのイエ	-.133	-1.994 *	.065	.858	-.016	-.215
美しいふるさと	.239	3.591 ***	.126	1.662	.163	2.171 *
夢や希望に満ちたふるさと	.249	3.739 ***	.114	1.496	.050	.667
義理堅いふるさとびと	.163	2.416 *	.177	2.305 *	-.075	-.979
人情豊かなふるさとびと	.304	4.467 ***	.144	1.862	.254	3.311 **
子どもの頃のふるさと	-.038	-.566	.040	.516	.116	1.531
R	.561		.332		.355	
R <sup>2</sup>	.314		.110		.126	
F	11.996 ***		3.242 **		3.772 **	

\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .001$

ふるさとの有無を従属変数にすると、1%水準で有意であるが決定係数は.110に低下した。「私にはふるさとはある」という認知を有意に規定する独立変数は、義理堅いふるさとびとの心象形成因子だけである。ふるさとびとの義理堅い結びつきの因子が、ふるさとに住む人にそこを拠り所として実感させるのかもしれない。

ふるさとでの定住願望を従属変数にしたところ、決定係数は.126とあまり高くないが、1%水準で有意だった。有意な予測力を持つ独立変数は、①人情豊かなふるさとびと、②美しいふるさとの因子だった。在郷者がふるさとにずっと住みたいと思う気持ちは、ふるさとの美しい自然環境の心象形成因子に加えて、ふるさとに住む人びとの人情味や面倒見の良さを心象化する心理に影響されるようである。

次に、表8は、ふるさとの認知に関する出郷者の結果である。出郷者の場合、ふるさとの心象は在郷者と同じような因子構造だったが、それらを独立変数とした重回帰分析の結果は在郷者と少し異なっている。

表8 首都圏在住者のふるさとの認知を従属変数とするふるさとの心象因子の重回帰分析結果 (n=79)

独立変数	従属変数： ふるさとの印象		従属変数： ふるさとの有無		従属変数： ふるさとでの定住願望	
	標準偏 回帰係数	t	標準偏 回帰係数	t	標準偏 回帰係数	t
ふるさとのイエ	.047	.551	.252	2.469 *	.308	2.993 **
美しいふるさと	.407	4.718 ***	.381	3.727 ***	.050	.490
ふるさとの大家族	.485	5.636 ***	.128	1.257	.260	2.535 *
人情豊かなふるさとびと	.158	1.819	.140	1.356	-.221	-2.132 *
遠く離れたふるさと	-.178	-2.062 *	-.065	-.637	.169	1.632
保守的なふるさとびと	-.035	-.403	-.038	-.370	.042	.405
夢や希望に満ちたふるさと	.097	1.123	.098	.957	.055	.531
R	.689		.512		.502	
R <sup>2</sup>	.475		.262		.252	
F	9.191 ***		3.603 **		3.408 **	

\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .001$

まず、ふるさとの印象を従属変数にしたところ、決定係数.475は0.1%水準で有意だった。ふるさとの有無、ふるさとでの定住願望を従属変数にした結果も含めて、いずれも在郷者より出郷者の方が決定係数の値が高い。つまり、ふるさとの心象を形成する因子は、在郷者より出郷者の方がふるさとの認知を強く規定するようである。出郷者のふるさとの印象に対する有意な独立変数は、①ふるさとの大家族、②美しいふるさとが正の予測力、③遠く離れたふるさとが負の予測力を示した。在郷者と違って出郷者の場合、ふるさとのイエは独立変数として有意ではなく、負の方向性も示していない。出郷者には、イエより家族の存在の方が大きいのだろう。また、ふるさとは遠く離れたところという因子は、ふるさととの隔たりを感じさせるが、そうした感情がふるさとを良く印象づけないことは、ふるさととの距離感を短縮したい出郷者の「ふるさに帰りたい」という気持ちを反映しているのかもしれない。

ふるさとの有無を従属変数にした決定係数.262は1%水準で有意だった。①美しいふるさと、②ふるさとのイエが有意な予測力を持つことがわかった。前述したように、この二つとほぼ同じ因子を持つ在郷者には、有意な予測力が表れなかったことが対照的である。ふるさとに帰る意向を持っている出郷者のふるさとの心象因子は、ふるさとに生活の場を移すというキャリア選択を実践する過程で、仕事や家族や自身の希望や将来の生活など、ふるさとでこれから起こりそうな事態を想像しながら、ふるさとに集中して心象化した産物と思われる。それだけに、「ふるさとがある」という認知を規定する①美しいふるさと、②ふるさとのイエは、純度の高いふるさとの心象形成因子と考えられる。ふるさとを離れた人は、美しいふるさとのイエを帰る場所として心に思い描いているのだろう。

ふるさとでの定住願望を従属変数とした結果は、決定係数.252が1%水準で有意だった。独立変数のうち、①ふるさとのイエ、②ふるさとの大家族が有意な正の予測力、③人情豊かなふるさとびとが有意な負の予測力を示した。在郷者については、「ふるさとのイエ」因子が有意ではなかったが負の方向性を表わしたのに、出郷者では、正の方向でふるさとでの定住願望を有意に予測するようである。また、在郷者では独立した因子として抽出されなかった「ふるさとの大家族」因子が、出郷者のふるさとでの定住願望を正の方向で予測している。さらに、在郷者のふるさとでの定住願望を、正の方向で予測する「美しいふるさと」因子は、出郷者には予測力を持たない。

このように、今、何らかの理由でふるさとにUターンしようとしている20～30歳代の出郷者が、帰郷してふるさとから離れずにずっと住みたいと思うのは、「美しいふるさと」ではなく、「ふるさとのイエと大家族」の心象因子に規定されるからだろう。出郷者にとってふるさとの美しい風景や景観は、そこで暮らす家族や親族への感情の心象背景でしかないようである。

また、「人情豊かなふるさとびと」因子は、在郷者のふるさとでの定住願望には正の方向で有意な予測力を持つが、出郷者には負の方向で有意な予測力を表わしている。ふるさとに住む人たちの感情を移入した相互の結びつきが、出郷者には不快に感じられるのかもしれない。

次に、親との関係にかかわる三つの変数を従属変数、ふるさとの心象形成因子を独立変数にして重回帰分析した。在郷者については、親へ報恩する意志と老親を世話する意志への有意な結果が得られた(表9)。

表9 秋田県在住者の親との関係を従属変数とするふるさとの心象因子の重回帰分析結果 (n=164)

独立変数	従属変数： 親へ報恩する意志		従属変数： 老親を世話する意志		従属変数： 親と同居する意志	
	標準偏 回帰係数	t	標準偏 回帰係数	t	標準偏 回帰係数	t
ふるさとのイエ	.039	.507	-.036	-4.77	-.021	-.263
美しいふるさと	.124	1.626	.081	1.069	.015	.190
夢や希望に満ちたふるさと	.108	1.415	.239	3.135 **	.139	1.778
義理堅いふるさとびと	.033	.422	-.042	-.549	-.073	-.924
人情豊かなふるさとびと	.155	1.996 *	.165	2.124 *	.114	1.434
子どもの頃のふるさと	.179	2.323 *	-.003	-.034	-.168	-2.129 *
R	.324		.325		.246	
R <sup>2</sup>	.105		.105		.061	
F	3.072 **		3.084 **		1.688	

\*p<.05 \*\*p<.01

親へ報恩する意志を従属変数にした決定係数.105は1%水準で有意だった。①子どもの頃のふるさと、②人情豊かなふるさとびとが有意な予測力を持つ独立変数である。子どもの頃の記憶心象と、人情味があり面倒見のいい人たちに囲まれた住みやすいふるさとの心象が、そのような環境下で育ててくれた親へ報恩する意志を規定するのだろう。

老親を世話する意志を従属変数にしたところ、決定係数.105は1%水準で有意だった。有意な予測力を示した独立変数は、①夢や希望に満ちたふるさと、②人情豊かなふるさとびとである。ふるさは、夢や希望に満ちた明るいところで、人情豊かな人たちが住んでいるという在郷者の心象形成因子が、将来、親の老後のめんどうをみようという意志に影響するようである。親への報恩や老親を世話する意志は、ふるさとびとの人情への信頼を基盤としていえる。

しかし、在郷者のふるさとの印象や、ふるさとでの定住願望を規定している「ふるさとのイエ」因子や「美しいふるさと」因子は、親との関係には有意な予測力を示していない。親と同居する意志を従属変数にした結果は、決定係数.061で有意ではなかった。このモデルでは、「子どもの頃のふるさと」因子をはじめ「義理堅いふるさとびと」因子、「ふるさとのイエ」因子が負の方向で影響している。これら3因子は、有意な予測力ではなかったが、老親を世話する意志を従属変数としたモデルでもやはり負の方向性を示している。ふるさとの紋切り型の心象は、親との同居のような家庭生活の現実的な形態の選択には影響力を持たないのかもしれない。

在郷者のふるさとの心象は、親へ報恩する意志と老親を世話する意志には予測力を持つが、親と同居する意志には予測力を持たないという結果が得られた。将来、結婚したとき、自身や配偶者の親と一しょに暮らすという具体的な行動の意志を、ふるさとの心象は予測できないが、ここで操作したふるさとの心象は、個人的な記憶の心象と想像された一般的なふるさとの心象とが混在していると思われるので、両者を区分した分析が必要であろう。

同じことが、出郷者にもあてはまる。出郷者については、ふるさとの心象因子が予測力を持つのは、1%水準で有意な決定係数.259を表わした親へ報恩する意志を従属変数とする重回帰式だけである(表10)。しかも、「美しいふるさと」因子のみが有意な標準偏回帰係数値を示したにすぎない。親へ報恩する意志に比べて、老親を世話する意志や親と同居する意志は、実際の行動を伴う意志の体現について考えさせる問いかけである。このような意味合いの従属変数に対して、ふるさとの心象形成因子が独立変数として有効ではないことから、出郷者にとって親との関係への回答は、ふるさとの心象とは別次元の認知とも考えられる。

表10 首都圏在住者の親との関係に従属変数とするふるさとの心象因子の重回帰分析結果 (n=79)

独立変数	従属変数： 親へ報恩する意志		従属変数： 老親を世話する意志		従属変数： 親と同居する意志	
	標準偏 回帰係数	t	標準偏 回帰係数	t	標準偏 回帰係数	t
ふるさとのイエ	.000	.000	-.013	-.116	.012	.104
美しいふるさと	.387	3.773 ***	.272	2.472 *	.224	2.013 *
ふるさとの大家族	.166	1.624	.182	1.657	.148	1.337
人情豊かなふるさとびと	.159	1.537	.058	.521	-.166	-1.485
遠く離れたふるさと	-.065	-.629	.016	.141	-.002	-.022
保守的なふるさとびと	.174	1.700	.161	1.461	.115	1.036
夢や希望に満ちたふるさと	.092	.897	.073	.663	.150	1.348
R	.509		.384		.357	
R <sup>2</sup>	.259		.148		.127	
F	3.551 **		1.759		1.482	

\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .001$ 

## 引用文献

- Levinson, D.J. 1986 A conception of adult development. *American Psychologist*, **41**, 3-13.
- Levinson, D.J., et al. 1978 *The seasons of a man's life*. New York: Knopf.
- (南 博 訳 1980 人生の四季—中年をいかに生きるか— 講談社)
- 武田圭太 1993 生涯キャリア発達—職業生涯の転機と移行の連鎖— 日本労働研究機構
- 武田圭太 2002 “ふるさと”の心象と定住願望との関係 愛知大学総合郷土研究所紀要, **47**, 1-12.
- 武田圭太 2003 愛知県豊川市青年団員の“ふるさと”の心象と定住願望との関係 愛知大学総合郷土研究所紀要, **48**, 137-153.
- 武田圭太 2004 愛知県蒲郡市民の“ふるさと”の心象と定住願望との関係 愛知大学総合郷土研究所紀要, **49**, 19-30.
- 武田圭太 2005 愛知県豊橋市民の“ふるさと”の心象と定住願望との関係 愛知大学総合郷土研究所紀要, **50**, 17-26.
- 武田圭太 2006 愛知県北設楽郡豊根村民の“ふるさと”の心象と定住願望との関係 愛知大学総合郷土研究所紀要, **51**, 23-36.
- 武田圭太 2007 愛知県田原市消防団員の“ふるさと”の心象と定住願望との関係 愛知大学総合郷土研究所紀要, **52**, 49-60.

